

【研究に関する情報】

研究課題名	口蓋裂形成術(Two-flap palatoplasty vs Two-flap palatoplasty+頬筋粘膜弁(BMMF))の「術後成績」に関する後ろ向き観察研究
研究責任者	<所属(診療科等)> 診療部形成外科 <職名・氏名> 副部長・矢口貴一郎
研究期間	2022年6月28日(倫理委員会承認日)～2025年6月30日
研究の目的	口蓋裂形成術(Two-flap palatoplasty法)に併用している頬筋粘膜弁の有用性を検討するため
研究の方法	<対象となる患者さん> 唇顎口蓋裂、口蓋裂単独の患者さんで、2012年1月から2018年12月31日の間に長野県内の医療機関で口蓋裂形成術を実施し、現在長野県立こども病院の外来を受診をされている方 <利用する情報> 診療録に基づいて以下の情報の調査をします。 患者さんの術前・手術時の情報(裂型、併存症、手術時体重、手術時月齢、裂幅など)、術後経過の情報(瘻孔発生の有無、言語評価結果、画像検査結果(X線ビデオ検査、鼻咽腔内視鏡検査、ナゾメーターなど)、追加で行った瘻孔閉鎖術や言語成績不良に対する手術に対する情報など) <利用する者の範囲> 情報は、長野県立こども病院形成外科医師が利用します。
問い合わせ先	この研究への参加は任意です。あなたの自由な意思が尊重されます。上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、下記へご連絡ください。 なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が特定の個人を識別することができないように加工している場合は、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。 <研究責任者> 長野県立こども病院 形成外科 副部長 矢口貴一郎 〒399-8288 長野県安曇野市豊科 3100 電話：0263-73-6700(代) 臨床研究支援室 ファックス：(0263) 73-5432

